

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。



地域医療連携部門からのご挨拶

総合患者支援センター 副センター長
医療情報部 森永裕士

日頃より総合患者支援センターの活動にご理解ご支援を賜りまして誠に有り難うございます。今春よりセンターは新体制にて稼働しております。総轄に新副病院長の森実 真先生をお迎えし、地域医療連携部門の業務改善に注力していく一方、これまでも取り組んできた入院支援を統合し対象の拡大と情報の一元化を目指す予定です。

一昨年末より猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により人々の健康が脅かされるのみならず、国民全体の社会活動の制限や生活様式の変更を余儀なくされる状況となり、患者の皆様におかれましては受診に際してのトリアージや術前PCR検査等でご不便をおかけする一方で、医療従事者の皆様は長期にわたり我慢と緊張を強いられる日々が続いていることと拝察します。患者の皆様に対しても、医療従事者同士においても、お互いに顔を合わせたコミュニケーションが重要な場合が多々ございますが、今後しばらくは続くと思われるCOVID-19の感染予防対策の中で、これまで当たり前とされていた診療のあり方も変容しつつあります。電話やインターネットを介した診療や処方の一部導入され、医療連携のための会議であったり院内においても多職種が関わる部門の運営会議等はオンラインでの開催がニューノーマルになりつつあります。しかしながら医療や介護そのもの、またそれら同士の連携の必要性が薄らいでいる訳では決してありません。感染や事故の予防のための確認事項や対策は増えるばかりですが、日常業務については意義を見直し、効率化できるところは効率化し、情報収集の一元化と共有を実施し、必要に応じて部署横断的な協力体制を構築していく必要性を感じております。一朝一夕にはまいりませんが、上記のような課題に取り組み、より質の高い医療を提供できる体制づくりに貢献させていただきたいと存じます。ご理解ご協力をお願いいたします。

もともと地域医療連携は先述のような横断的協力体制と役割分担の理念に基づいて実践されているものと確信しております。総合患者支援センター地域医療連携部門は、外来診療予約や地域連携パス、地域医療ネットワーク『晴れやかネット』、かかりつけ医周知のための啓蒙活動や逆紹介の推進等の業務を通じて、患者の皆様や地域の医療従事者の皆様に安心して医療のやりとりができる環境作りのお手伝いを継続してまいります。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

◆「かかりつけ医」持ちましょう

「かかりつけ医」とは、日常的な診療や健康管理を行う地域の診療所やクリニックの医師のことであり、普段から患者さんの健康状態、持病などを把握し、必要があれば専門の医療が受けられるよう急性期病院を紹介する役割を担っています。



一方、当院は、一般医療機関では実施することが難しい手術や先進的で高度な医療を必要とする患者さんや急性疾患の患者さんに迅速に対応する「急性期病院」で、地域のかかりつけ医と連携して治療を行っています。皆さまには、ご自宅の近くに「かかりつけ医」をお持ちになることをお勧めします。

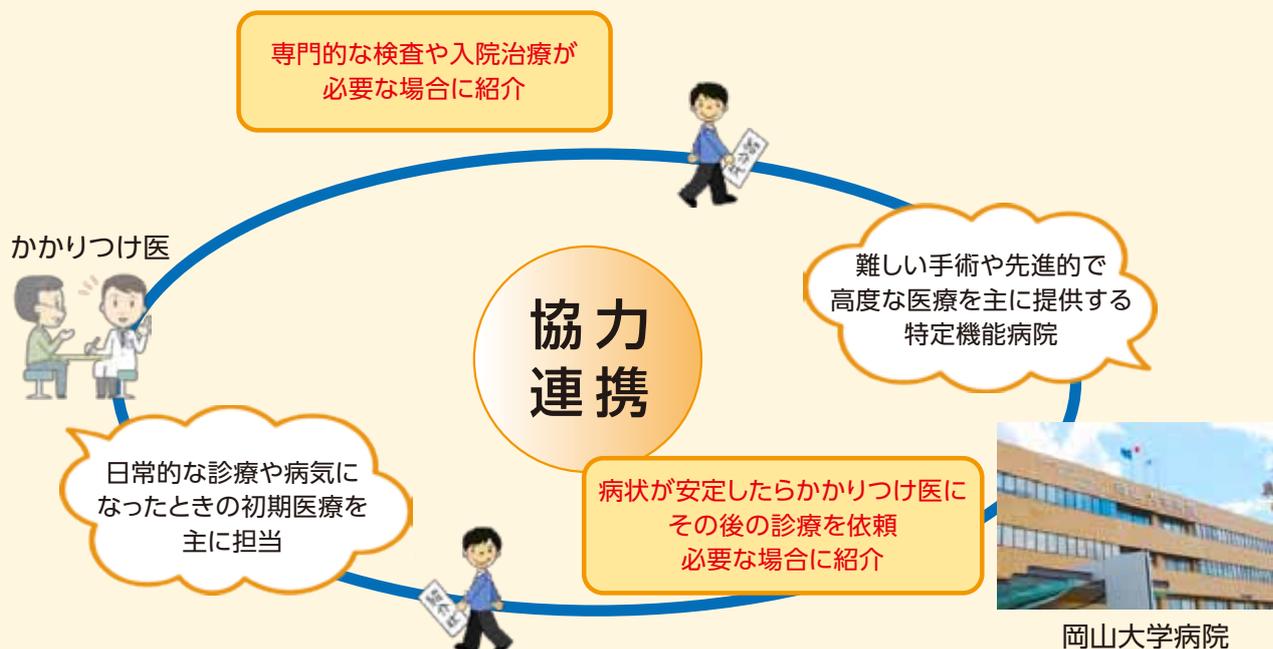
関連する取り組みとして、5のつく日には腕章をつけて、「かかりつけ医推進キャンペーン」を行っています。当院の役割やかかりつけ医をもつ大切さを書いたチラシを配布しています。再来受付機の横にも、自由にお持ちいただけるようチラシを置いていますのでご参照いただくと幸いです。ご理解、ご協力をお願いいたします。

◆病診・病病連携(専門病院と地元医師の二人主治医制)の推進

当院は、患者さんの同意をもとに、患者さんの診療情報を医療機関の間で共有し役立てる「晴れやかネット(岡山県)」に参加しております。晴れやかネット同意書を提出していただくことで、紹介元医療機関(かかりつけ医)に当院のカルテを開示(閲覧)する取り組みをしております。当院で受けた各種検査・画像等の診察情報を、かかりつけ医等と共有し、患者さんに地域での適切な診断・治療を受けていただくよう支援しております。



また、紹介元医療機関(かかりつけ医)において晴れやかネット同意書を提出された場合でも、本院の診療情報等を開示(閲覧)する仕組みになっておりますので、積極的な活用をご検討いただくと幸いです。ご理解、ご協力をお願いいたします。



～在宅療養について～

医療の進歩に伴い、手術や治療での入院期間が短くなりました。通院で受けられる治療が増え、通院が困難になった時は在宅で医療を受ける方もいらっしゃいます。その中で、どのように療養して過ごしたいのかを患者さん、ご家族と一緒に考え、在宅で医療・介護が受けられるよう環境を整えることが大切になってきます。

～在宅で利用できるサービスを一部紹介します～

	内 容	使える制度
訪問診療	医師による診察、治療、薬の調整など	医療保険
訪問看護	看護師による健康状態の観察、医療処置、管理など	介護保険 医療保険
訪問リハビリ	リハビリスタッフによる歩行訓練、筋力トレーニング、嚥下訓練など	介護保険 医療保険
訪問介護・居宅介護	ホームヘルパーによる居宅での入浴、排泄、食事等の介護サービス	介護保険 障害福祉サービス
住宅改修	手すりの設置、段差の解消など	
福祉用具購入 日常生活用具購入	シャワーチェア、ポータブル(簡易)トイレの購入など	
福祉用具レンタル	車いす、電動ベッド、手すり等のレンタル	介護保険

※障害福祉サービス…介護保険適応外で、障害者手帳か難病の疾患がある方が利用できます。

※患者さんそれぞれの状況によって利用の仕方は違いますので、個別にご相談ください。

総合患者支援センターでは、在宅療養の環境調整について相談をお受けしています。地域のケアマネージャーや専門相談支援員、かかりつけ医などと連携して、住み慣れたご自宅での療養について考えていきます。予約は不要です。お気軽にお立ち寄り下さい。



治療しながら働きたい方の相談窓口

がん、脳卒中、心疾患、肝疾患、糖尿病等で治療をしながら働くことを考えたい時、仕事について相談できる窓口があります。
(当院への通院の有無に限らず利用できます)



窓口 総合患者支援センター

仕事と治療の両立に関する相談に対応しています。

通院・入院・自宅療養をしながら仕事を継続したい、活用できる制度、一旦退職したけど病気が落ち着いてきたので働きたいなど、仕事についての相談が可能です。
専門の出張相談におつなぎすることもできます。

ハローワーク岡山 出張相談

時間：毎週木曜日
10:00～13:00
(予約制)

- ・自分の病状、体力に合った仕事を見つけたい
- ・仕事復帰に関して相談したい
- ・職業訓練や就職支援セミナー情報を知りたい

ハローワーク岡山の就労支援ナビゲーターが、その方の能力や適性、症状や治療状況を踏まえ、職業相談・職業紹介などを行います。

社会保険労務士 出張相談

時間：毎月第2・4火曜日
10:00～13:00
(予約不要)

- ・障害年金は利用できますか
- ・通院しながら仕事を続けたい
- ・休職中に受けられる給付金等がありますか

社会保険労務士は、雇用問題、社会保険制度の専門家です。治療と仕事の両立ができるように、会社の制度、公的な制度等についてご相談できます。